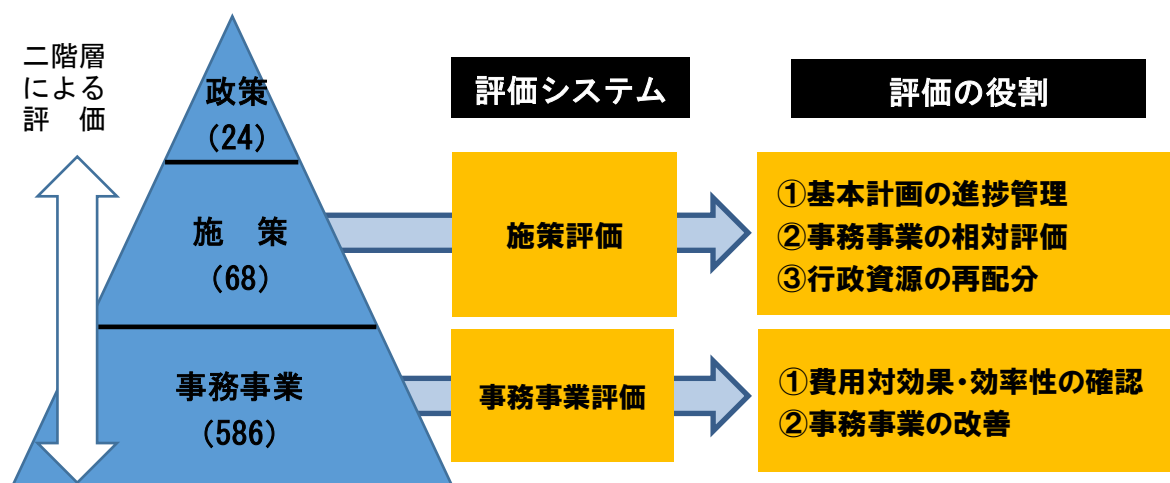


令和5年度 行政評価の実施結果（令和6年度実施）

1 行政評価の目的

行政評価は、行政活動の「PDCA サイクル」における評価（Check）の部分を担当しており、業務の見直しや適切なアクションにつなげるだけでなく、次年度の予算編成への活用も見据えて実施している。

平成29年度から、基本計画の進捗管理等を目的とした行政評価（以下「施策評価」という）と従来からの「事務事業評価」を組み合わせた二階層による評価を実施している。



2 施策評価の結果（詳細「施策別評価結果一覧」参照）

全68施策について設定した指標に基づき施策の進捗状況を測定した結果は下図のとおり。

指標達成評価	令和5年度				令和4年度			
	成果指標		活動指標		成果指標		活動指標	
	施策数	割合	施策数	割合	施策数	割合	施策数	割合
S:目標超過達成 (達成率130%以上)	3	4.4%	15	22.1%	3	4.4%	13	19.1%
A:達成 (達成率100～130%)	17	25.0%	19	27.9%	28	41.2%	19	27.9%
B:相当程度達成 (達成率70～100%)	43	63.2%	25	36.8%	36	52.9%	24	35.3%
C:未達成 (達成率40～70%)	4	5.9%	6	8.8%	1	1.5%	10	14.7%
D:大きく未達成 (達成率0～40%)	1	1.5%	3	4.4%	0	0.0%	2	2.9%
合 計	68	100.0%	68	100.0%	68	100.0%	68	100.0%

3 事務事業評価について

令和5年度より、改善・見直しの余地の大きい事業を選定し、事務事業評価を実施。

その他の計画事業については「主要な施策の成果報告」と統合し、情報の一元化を図り、一般事業については「進捗確認表」を作成、毎年度決算状況や指標の達成状況を確認している。

(1) 事務事業評価対象事業

類型	選定の考え方	事業数
継続評価事業	令和5年度実施した事務事業評価のうち、評価結果が「改善・見直し」の事業	22事業
新規評価事業	政策経営部が選定した、改善や見直しの余地の大きい事業	13事業
計		35事業

(2) 評価の方法

指標の達成状況 (A)	S, A, B, C, D の5段階で評価【所管課にて評価】
業務改善の取組 (B)	S, A, B, C の4段階で評価【所管課にて評価】
区が実施する必要性 (C)	S, A, B, C の4段階で評価【所管課にて評価】
総合評価 (D) = (A+B+C)	ランク1~4の4段階を自動判定
今後の予算要望 (E)	予算編成に向けた所管課の予算要望
今後の事業の方向性	総合評価と予算要望を踏まえた事業の方向性 S: 拡充~C: 終了の4段階で選択

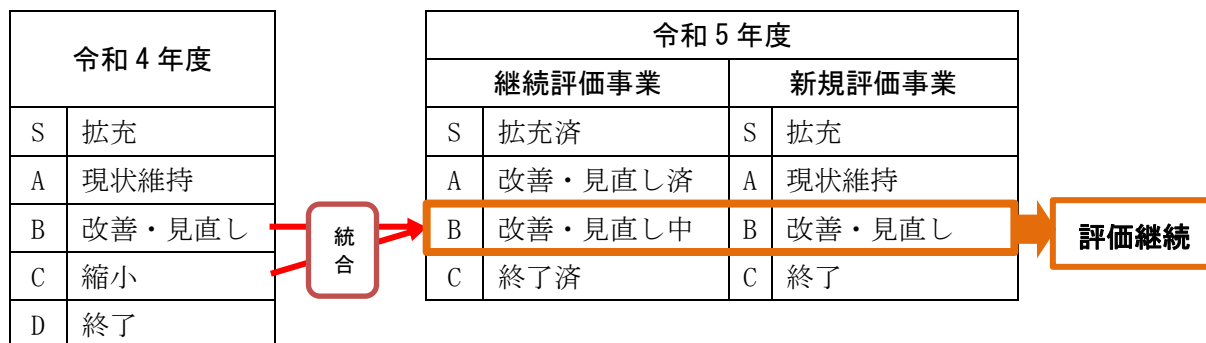
(3) 「今後の事業の方向性」評価基準の改定

①対象事業の類型に適した評価体系

継続評価事業は、改善有無がより明確な表現となるよう、下表のとおり体系を改めた。

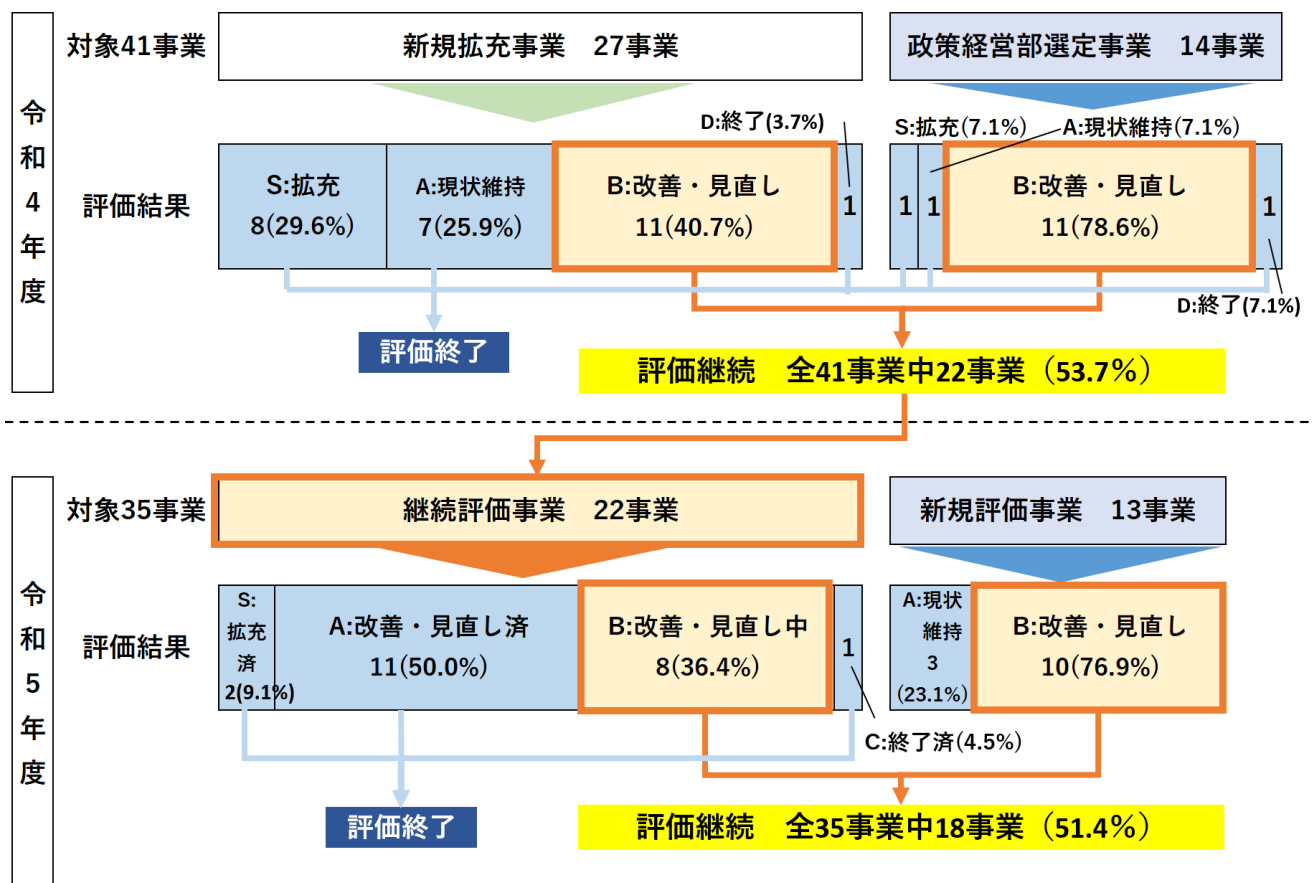
②「C：縮小」の廃止と統合

従来の「C:縮小」は、予算の減額だけではなく事業の対象や運営手法等の改善・見直しによるリビルドの側面が大きいため、「B:改善・見直し」に統合し、評価基準を5段階から「S:拡充~C:終了」の4段階とした。



※継続評価事業の「B:改善・見直し中」及び新規評価事業の「B:改善：見直し」は、次年度の評価実施対象とする。それ以外の評価となった事業は、原則として当年度で評価終了とする。

(4) 評価結果 (詳細 「事業別評価結果一覧」 参照)



継続評価事業については、事業内容の改善や見直しが図られたため、令和5年度の評価結果では22事業中11事業(50.0%)が「A:改善・見直し済」となり、8事業(36.4%)が「B:改善・見直し中」となった。

新規評価事業は、13事業中10事業(76.9%)が「B:改善・見直し」となり、全体としては、評価を実施した35事業のうち18事業(51.4%)が評価継続となった。

4 今後のスケジュール

9月中旬を目途に施策評価及び事務事業評価結果を公表する。

個別の評価結果は、区ホームページに掲載します。

また、評価結果の概要は広報としにより、区民のみなさまにお知らせいたします。